

市民病院だより

地域と共に考える医療



形成外科 中田実樹 みつぎ

日本形成外科学会 形成外科専門医



形成外科は眼科、耳鼻科、泌尿器科などの体の場所(部位)や臓器別の診療科ではありませんので、形成外科という診療科をまだ聞き慣れない方、聞いたことはあるけれど、どんな病気を治すのか、良く分からないという方が多いと思います。形成外科とは、体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、生活の質「Quality of Life」の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

当院では主に切り傷、擦り傷、あざ、やけど、肥厚性瘢痕、ケロイド、傷跡、皮膚皮下腫瘍、顔面打撲、体表面の先天異常、巻き爪、陥入爪、わきが、乳房再建などを行っています。あざの治療では赤あざ(莓状血管腫など)、青あざ(蒙古斑など)、茶あざ(扁平母斑など)に対して主にレーザー治療を行っています。保険適用のものも多くありますので、気になれば

一度相談にお越しください。乳房再建は主にインプラントによる再建、自家組織による再建があります。それぞれ一次再建(乳房切除と同時に再建)と二次再建(乳房切除後、時間を空けて再建)があります。乳癌で乳房切除を行う方、過去に乳房切除を行った方に対して一人一人の希望に沿った治療を考えていきます。また、当院では美肌治療にも力を入れて取り組んでいます。しみ治療、ほくろ除去、脱毛などに対して病院だからこそ取り扱える最新の医療機器からメデイカルエステまで、オーダーメイドの幅広い治療の選択が可能です。形成外科で治療を受けた方々が、笑顔で再び社会生活に復帰してゆく姿を見るのが、形成外科を専門とする私たちの最高の喜びです。

問 市民病院 TEL 22-52211



時代をつむぐ男と女

149

問 暮らし人権課 水野 TEL 22-1128

父子手帳ご活用ください!!

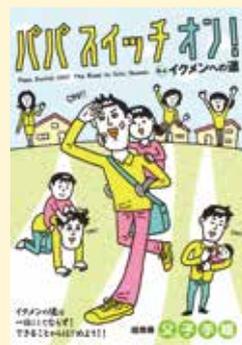
岐阜県では「父子手帳」を配布していますがご存知でしょうか。これは母子健康手帳のように、母子の健康状態や子どもの成長について記録するものではありません。ママが妊娠した時から子どもが就学するまでの間において、パパがどのように子育てに関わっていけばよいかを説明した冊子です。

この冊子の特徴は、子育て中のママの声がたくさん取り入れられていることです。「妊娠中はこんなことをしてもらえるとうれしい」「パパが子育てに参加することでこんないいことがあった」など、子育て中のママから聞き取った生の声が、冊子の全体にわたってたっぷりと採り入れられています。

私も「父子手帳」を読みましたが、子育てに取り組む前に知っているのと助かる情報がたくさんありました。例えば、おむつの替え方については、イラストを交えながら、男の子と女の子でおむつのあて方が異なることを丁寧に説明してありました。子育て

前の方だけでなく、子育て奮闘中の方や、いまさら子育てのことをママに聞けないと感じる方、さらにはお孫さんを育てているおじいちゃんおばあちゃんにもぜひ読んでもらいたい内容です。

また、県内の子育て中の女性が考える、パパの子育て協力に対する点数など、楽しみながら子育てを学べるコラムも充実しています。岐阜県内のパパの点数は一体何点なのか、ぜひこの冊子を読んでチェックしてみてくださいね。



この冊子は暮らし人権課窓口で配布していますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

みんな一緒に
Let's 育児!!